

第7回 環境保全、情報発信WGの開催結果

日 時	平成29年3月13日(月) 15:00~16:15	
場 所	亀岡市役所 6階 第603会議室	
出席者	<p>NPO法人 プロジェクト保津川 代表理事 原田禎夫 グループ長 NPO法人 亀岡子育てネットワーク 理事長 田中美賀子 副グループ長 保津川遊船企業組合 エコ・グリーン対策委員長 森田孝義 西つつじヶ丘自治会 会長 串崎哲史 亀岡市 環境政策課 齊藤環境保全係長 " 桂川・道路整備課 澤田副課長、湯浅主査 (事務局) 京都府南丹土木事務所 河川砂防室 木下室長、谷口副室長、中主査 企画調整室 山田主事 株式会社キクチコンサルタント 奥村、笹野、菅原</p> <p style="text-align: right;">(順不同、敬称略)</p>	
内 容 (次第)	<p>1) 開 会 2) 議 事 ○保津川かわまちづくり情報提供施設整備方針(素案) ○その他 3) 閉 会</p>	
結 果	<p>○保津川かわまちづくり計画の対象範囲全体を統一したデザインとするため、統一カラーについて参加者全員の意見を聞いて、ライトブルーに決定した。</p> <p>○事務局から提案された「保津川かわまちづくり情報提供施設整備方針(素案)」が承認された。</p> <p style="text-align: right;">以上</p>	
	1/2	

<主な意見>

- ・サインの方向性やサインの種類、設置を想定する場所については前回のワーキングでまとめられているので、今回はデザインと維持管理を中心に話し合いを行う。
- ・前回WGでは統一感をもたせるため、サインを同じ色で統一するのが望ましいとの意見であった。
- ・長年使っていると汚れが付く。明るい色のサインだと汚れが目立つのではないか。
- ・高齢者や色覚障害者の方が視認しやすい文字色の組合せを考える必要がある。
- ・統一カラーについて事務局から提案の3色（ライトブルー、ライトグリーン、パープル）について参加者全員の意見を聞いた結果、ライトブルーを採用する。
- ・総合案内サインなど盤面が大きいものは、統一カラーを柱やフレームに用いることとし、盤面が小さい誘導サイン等はその限りでない。
- ・市民が集まるイベント時に現地で実物大の試作品を造って意見を募ってはどうか。
- ・サインの維持管理については、基本的には設置者が一定の管理を行う。
- ・サインの設置者は、行政、地元、公共性の高い民間(JR など)、その他を想定している。
- ・維持管理計画にあるように1年に1回程度、設置者の方で清掃や点検などを行って頂くという形で考えていただければ良いかと思う。
- ・サインの設置者は、サイン相談窓口に対して申請を行うものとする。今のところはワーキングの事務局である京都府をサイン相談窓口として想定している。ただし、今後、サイン相談窓口となる者を別に検討したいと考えている。
- ・多くの人がグーグルマップを見て観光に来ると思うので、おすすめのコースとして看板を設置したところに誘導するように働きかけてはどうか。

